

日本バウハウス協会
講演 (オンライン+オフライン)
2023年1月28日(土)
14:00-15:00(資料閲覧)
15:00-16:30(講演)

森 香織

バウハウスと山脇巖 によるデザイン教育



デッサウ末期の混乱の中バウハウスの予備課程で学んだ山脇巖は、帰国後自身のアトリエを主宰し注文モダニズム建築を手がけるが、時節柄注文住宅の依頼は激減し、大学での教鞭を主な糧とする。本業はあくまで「建築家」と公言していた山脇だが、戦後の新制4年生大学として出発した日本大学芸術学部美術学科の主任教授として迎えられ、デザイン教育に真摯に取り組み始める。バウハウス留学中はアルバースやカンディンスキーの授業に皆勤で出席し、建築以前にものの本質や基本に理解を深めながら独創的なデザインの基礎となる材料や素材の全く新しい処理方法の発見、シュパヌングの発見と表現の単純化に見られる表現主義的傾向に多大な影響を受けたことで、それらをデザイン系の学生の共通基礎として日本人向けの内容に作り直して教材とした。これらの系譜をたどりながら、山脇巖の目指したデザイン教育の方向性とその成果を概観し、併せて平面デザイン分野へのバウハウス教育の影響を振り返る。

講師 森 香織 (もり かおり)

1961年東京生まれ。日本大学芸術学部デザイン学科教授。同大学院造形芸術専攻主任。

1984年日本大学芸術学部美術学科ヴィジュアルコミュニケーションデザインコース卒業。1987年筑波大学大学院芸術研究科デザイン専攻構成学修士課程修了。

専門は基礎デザイン、デザイン教育、構成、グラフィックデザイン。デザイン・造形の基盤となる形態や色彩の研究を通じて美的秩序や構成を、歴史的・地域的・文化的などの多方面から探求してきたが、日芸に戻ってからは山脇巖研究もライフワークの一つとしている。日本デザイン学会理事、基礎デザイン学会理事、基礎造形学会会員、意匠学会会員。日本色彩研究所評議員。日本色彩教育研究会理事。

主催 日本バウハウス協会 (お問い合わせ)

<http://nipponbauhaus.jp>

講演は無料 (オンライン+オフライン)

今回は、講演に先立ち、14:00-15:00 (オフラインのみ)、山脇巖関係資料の紹介があります。

日本大学芸術学部江古田キャンパス西棟2階デザインアトリエ C-1

<<https://www.art.nihon-u.ac.jp/facility/campus/>> 西武池袋線江古田駅下車。

講演申し込みは2次元コードまたは下記 URL

https://zoom.us/webinar/register/WN_mYQ5WJgBSaC4ToAS-iaQqg

